

屋根用遮熱塗料の豊富な採用実績と
自動車用防音材開発技術を応用。

省エネ屋根用 遮熱・断熱・防音塗料

中空バルーン配合屋根用遮熱塗料

パラサーモニールド

新製品



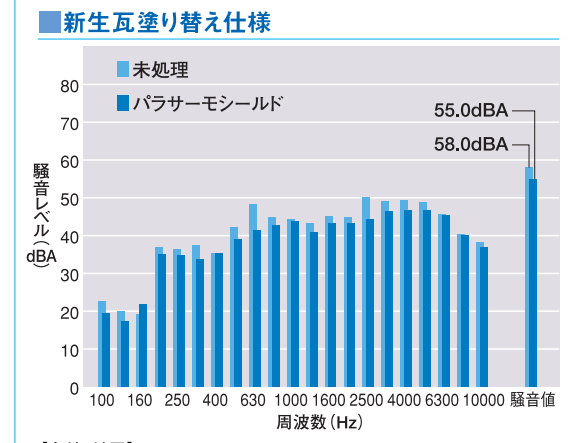
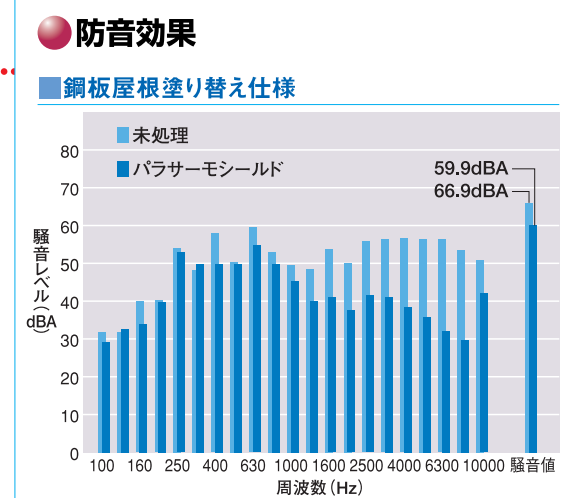
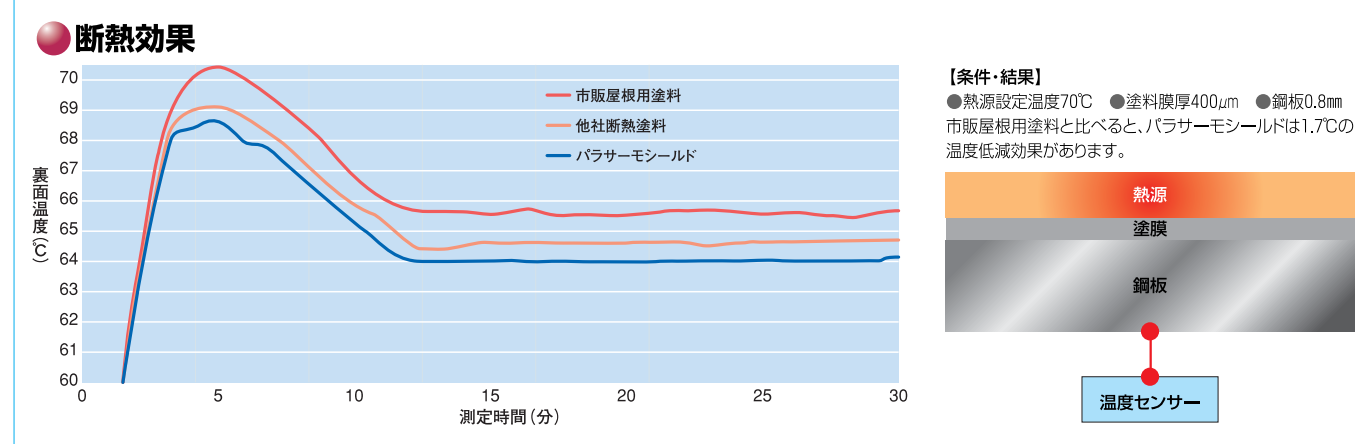
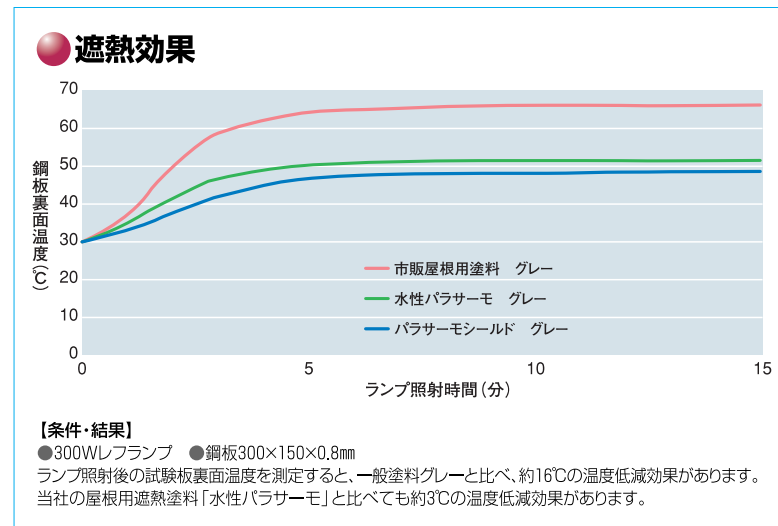
遮熱効果と断熱・防音効果を組み合わせた屋根用遮熱塗料「パラサーモシールド」。

熱反射性中空バルーンが太陽熱を遮断、約16℃の温度低減効果で快適な居住環境づくりに貢献します。

「パラサーモシールド」は中空バルーン層を含む屋根用遮熱塗料です。
 中空バルーンを配合している中塗層が熱と音を遮断し、遮熱性の上塗層と組み合わせることで、より優れた遮熱効果を発揮します。
 また、上塗は白や淡彩色系から濃色系までカラフルな標準色を設定しています。
 保護・美装はもちろんのこと、遮熱機能と防音機能をとおして、快適な居住環境を実現します。

特長

- 中空バルーン層と遮熱性の上塗層を組み合わせることで、より優れた遮熱効果を発揮します。
- 高い防音効果により、雨音などの騒音を軽減します。
- 白、淡彩色から濃色までカラフルな標準色をラインアップしました。
- 環境対応型の金属用下塗材は弱溶剤系塗料、中塗・上塗材は環境に配慮した水系塗料です。



【条件・結果】
 ●水滴落下試験方法(社内試験)
 ●鋼板300×300×0.8mm…未塗装板と比べて7dBA程度の騒音を低減
 ●新生瓦400×900×5.0mm…未塗装板と比べて3dBA程度の騒音を低減
 ※約3dBA低くなることは、音のエネルギーが半減(100個のスピーカーが50個になります)したことになります。

【騒音値と騒音の例】
 100dBA…電車が通るときのガード下などの音量、80dBA…地下鉄・電車などの車内の音量、60dBA…普段の会話・静かな乗用車内の音量、40dBA…静かな事務所内の音量、30dBA…図書館・静かな住宅地の屋帯・市内など深夜帯の音量、20dBA…郊外の深夜帯・ささやき声程度の音量、10dBA…木の葉のふれあう音・置時計の秒針音(前方1m)の音量

標準塗装仕様

●鋼板屋根塗り替え仕様

工程	塗料の調合	施工方法	使用量	施工間隔
素地調整	●フクレ、割れ、浮きなどの劣化塗膜はケレン工具を用いて除去してください。 ●さびは電動工具やサンドペーパーなどを用いて除去し、被塗面を清掃してください。 ●被塗面の表面の塵、ホコリ、油脂類はブラシやシンナー除去、高圧水洗などで完全に除去してください。			
下塗	●パラサーモシールド金属プライマー A液……………16kg ● “ ” B液……………1.6kg ●塗料用シンナーA……………0~0.8kg	●刷毛 ●ローラー ●エアレススプレー	0.20~0.25kg/㎡	16時間以上72時間以内(23℃)
中塗	●パラサーモシールド中塗……………15kg ●水……………0~0.3kg	●刷毛 ●ローラー ●エアレススプレー	0.30kg/㎡	4時間以上(23℃)
上塗(1回目)	●パラサーモシールド上塗……………15kg ●水……………0~1.5kg	●刷毛 ●ローラー ●エアレススプレー	0.13~0.16kg/㎡	2時間以上(23℃)
上塗(2回目)	●パラサーモシールド上塗……………15kg ●水……………0~1.5kg	●刷毛 ●ローラー ●エアレススプレー	0.13~0.16kg/㎡	—

※ガルバニウム鋼板屋根などの下地の種類によって下塗(プライマー)が異なります。最寄りの当社営業所までお問い合わせください。

●新生瓦・厚形スレート屋根塗り替え仕様

工程	塗料の調合	施工方法	使用量	施工間隔
素地調整	●表面のフクレ、割れ、浮きなどの劣化塗膜はケレン工具を用いて除去してください。 ●被塗面の表面の塵、ホコリ、油脂類はブラシやシンナー除去、高圧水洗などで完全に除去してください。			
下塗	●パラサーモシールドスレート用シーラー……………15kg	●刷毛 ●ローラー ●エアレススプレー	0.15kg/㎡	4時間以上72時間以内(23℃)
中塗(1回目)	●パラサーモシールド中塗……………15kg ●水……………0~0.3kg	●刷毛 ●ローラー ●エアレススプレー	0.30kg/㎡	4時間以上(23℃)
中塗(2回目)	●パラサーモシールド中塗……………15kg ●水……………0~0.3kg	●刷毛 ●ローラー ●エアレススプレー	0.30kg/㎡	4時間以上(23℃)
上塗(1回目)	●パラサーモシールド上塗……………15kg ●水……………0~1.5kg	●刷毛 ●ローラー ●エアレススプレー	0.13~0.16kg/㎡	2時間以上(23℃)
上塗(2回目)	●パラサーモシールド上塗……………15kg ●水……………0~1.5kg	●刷毛 ●ローラー ●エアレススプレー	0.13~0.16kg/㎡	—

※上塗は弱溶剤系塗料「パラサーモ」「パラサーモシリコン」も塗装いただけます。

【パラサーモシールド中塗のエアレススプレーの標準塗装例】

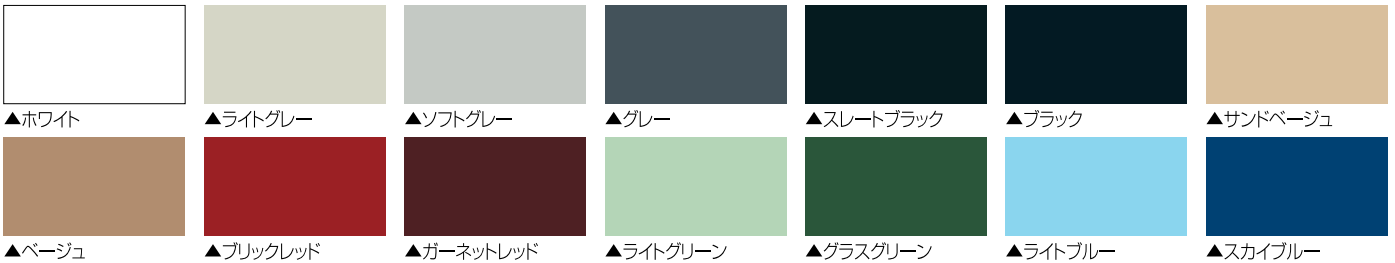
●塗装機……………高粘度型エアレスポンプ(ポンプレシオ20:1~30:1)	●吐出量……………5~8kg/分
●使用チップ径……………0.8mm以上	●塗装速度……………50~60cm/秒
●パターン幅……………25~30cm	●乾燥膜厚……………約180μm

●使用上の注意事項

- 屋根表面が雨や露、霜で濡れているときは十分に乾燥させてから塗装してください。濡れたまま塗装しますとフクレ、ハガレの原因になりますのでご注意ください。
- 新生瓦のローラー施工の場合、塗装後に前木口部に塗料が溜まりますと雨漏りにつながる可能性があります。必ず皮すきやカッターなどで縁切りを行ってください。**
- パラサーモシールドをローラーや刷毛で塗装しますと、表面に凹凸が発生します。ご了承ください。
- 高圧水洗やエアレス塗装では、施工中のミスの飛散防止のため、十分な養生を行ってください。
- 降雨、降雪が予想される場合や外気温が5℃以下、湿度85%以上での塗装は避けてください。
- 塗装器具は使用後速やかに洗浄してください。
- スレート用シーラーを塗装後に降雨にあった場合、もしくは下塗から上塗までの塗装間隔が長く開いた場合は、再度スレート用シーラーを塗装してください。
※とくに夏場で塗布量が少なく、塗装間隔が空いた場合は必ずスレート用シーラーを再塗装してください。
- スレート用シーラー(pH2~3)と一般の塗料(pH8~9)を混合しますとゲル化、ブツ発生などの原因となります。塗装前後では、塗装器具を水で十分に洗浄してください。**
- 規定の塗布量を塗装してください。不十分な場合は塗装ムラなどの施工不良や塗膜欠陥の原因となります。**

標準色

●本標準色は印刷のため、実際の仕上がりとは多少の色違いが生じる場合があります。ご了承ください。



塗膜性能

試験項目	試験方法	成績
付着性	ゴバン目テープ試験 (2mm角 100マス)	100/100
耐水性	水道水 18時間浸漬 剥離のないこと	異常なし
温冷繰り返し	20℃水中×18時間浸漬 → -20℃×3時間静置 → 50℃×3時間静置を1サイクル×10サイクル	異常なし
耐アルカリ性	飽和水酸化カルシウム溶液 24時間浸漬	異常なし
耐酸性	5%硫酸水溶液 24時間浸漬	異常なし
促進耐候性	サンシャインウェザオメーター2,000時間で著しい劣化がないこと	異常なし
熱伝導率	熱線法試験	0.19W/m・K

用途

- 工場、倉庫などのスレート、トタン、鋼板屋根
- 体育館の屋根
- 戸建ての一般住宅屋根(新生瓦、厚形スレートなど)
- その他畜舎、車庫などの各種屋根

荷姿

- パラサーモシールド金属プライマー ……17.6kgセット (A液: 16kg B液: 1.6kg)
- パラサーモシールドスレート用シーラー ……15kg
- パラサーモシールド中塗 ……15kg
- パラサーモシールド上塗各色 ……15kg

「パラサーモシールド」取り扱い上の注意事項

(よく読んでご使用ください)

- 火気のあるところでは、絶対に使用しないでください。
- 万一、火災が発生した場合は炭酸ガス、泡または粉末消火器を用いてください。水は使用しないでください。
- 施工中、乾燥中ともに換気を充分に行ない、ミストや蒸気を吸い込まないようにしてください。
- 取り扱い中は、できるだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて有機ガス用防毒マスク、手袋および前掛けなどの保護具を着用してください。
- 取り扱い作業中、容器からこぼれないよう注意してください。こぼれた場合は、直ちに布やウエスで拭き取るか、砂などを散布したのち処理してください。
- 材料の付着した布やウエスなどは自然発火や引火の危険性があるため、廃棄するまで水につけておいてください。
- 容器は、つり上げないでください。止むを得ずつり上げる時には、適切なつり具で垂直に持ち上げ、落下に充分注意してください(偏荷重になると取っ手が外れ、落下する危険性があります)。
- 取り扱い後は、手洗いおよびうがいを充分に行なってください。
- 目に入った場合は、多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 誤って飲み込んだ場合は、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 材料が皮膚に付着し、痛みや外観変化があるときは、医師の診察を受けてください。
- 蒸気やガスを吸い込んで気分が悪くなった場合は、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けてください。
- 保管は必ずフタをし、直射日光の当たらない場所に保管してください。
- 子供の手の届かないところに保管してください。
- 中身を使いきってから廃棄してください。また、廃液・汚泥などは関係法規に基づき、自社で適正に処理するか、産業廃棄物処理業者に委託して処理してください。
- 詳細な内容が必要な場合は警告ラベル、または化学物質等安全データシート(MSDS)をご参照ください。

*製品改良のため、仕様などを予告なしに変更することもあります。ご了承ください。

【その他、ご不明な点がございましたら、最寄りの営業所へお問い合わせください】

日本特殊塗料株式会社

■お問い合わせ先

- 東京営業所 〒114-8584 東京都北区王子5-16-7 ☎(03)3913-6203 ●FAX(03)3913-6323
 平塚営業所 〒254-8503 神奈川県平塚市長瀬1-10 ☎(0463)23-2135 ●FAX(0463)23-3739
 名古屋営業所 〒472-0006 愛知県知立市山町東並木12 ☎(0566)81-8111 ●FAX(0566)81-8124
 大阪営業所 〒564-0062 大阪府吹田市垂水町3-28-10 ☎(06)6386-8492 ●FAX(06)6338-3560
 広島営業所 〒739-0025 広島県東広島市西条中央4-3-13 ☎(082)423-8231 ●FAX(082)423-8256
 福岡営業所 〒849-0112 佐賀県三養基郡みやき町江口4726 ☎(0942)89-5766 ●FAX(0942)89-5762
 特販部 〒114-8584 東京都北区王子5-16-7 ☎(03)3913-6147 ●FAX(03)3913-6250

■塗料事業本部 〒114-8584 東京都北区王子5-16-7 ☎(03)3913-6153 ●FAX(03)3913-6236

- 日本特殊塗料ホームページ <http://www.nttoroyco.jp/>
- ニットク・アメニティシステム連合会ホームページ <http://www.e-toso.net/>

■代理店



本カタログは環境保全のため、用紙には古紙配合率100%再生紙を、印刷インキには大豆インキを使用しています。このSOY INKマークは米国大豆協会承認マークです。

PAS-0407J-Ⅲ #1 [2007年4月作成]